



2024年6月25日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマト
代表者名 代表取締役社長執行役員 町田 豊
(コード番号: 1967 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 藤井政宏
(TEL 027-290-1800)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、取締役会全体の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的とし、取締役会全体の実効性に関する分析・評価を行いました。なお、必要に応じその集計・分析については外部機関に委託しております。2024年3月期の取締役会の実効性に関する評価結果の概要は下記のとおりであります。

記

1. 評価の実施方法

取締役会評価においては、以下の事項を内容とするアンケートをすべての取締役、監査役に実施し、その回答を得ました。

対 象 者 : 取締役10名 (うち社外2名)、監査役3名 (うち社外2名) 合計13名

対 象 期 間 : 2024年3月期

実 施 期 間 : 2024年3月22日～4月1日

手 法 : 外部専門家に委託してアンケートを実施する第三者関与の自己評価方式

アンケート : 5段階評価と自由記述式回答 12区分 (31項目)

区 分 概 要 :

- ①取締役会の在り方
- ②取締役会の構成
- ③取締役会の運営
- ④取締役会の議論
- ⑤取締役会のモニタリング機能
- ⑥社内取締役のパフォーマンス
- ⑦社外取締役のパフォーマンス
- ⑧取締役・監査役に対する支援体制
- ⑨トレーニング
- ⑩株主 (投資家) との対話
- ⑪自身の取組み
- ⑫総括

2. 評価結果の概要

評価結果の概要については、次のとおりであります。

(1) 当社取締役会は、取締役会の在り方、取締役会の構成、取締役会の運営、取締役会の議論、取締役会のモニタリング機能、社内取締役のパフォーマンス、社外取締役のパフォーマンス、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主（投資家）との対話、自身の取組み、総括の各アンケート内容について、概ね取締役会の実効性が確保できている評価となりました。

(2) 前回から課題として取組んでいる事項

- ・形式的でなく自由闊達で建設的な議論や意見交換
- ・中核人材の多様性の確保の考え方などについての適切な議論
- ・グループ全体の内部統制システムの構築および運用状況の十分な監督

取締役会は、その役割、責務を実効的に果たすべき、社外ミーティングの実施、社外役員からの助言や積極的な質問など、自由闊達で建設的な議論や意見交換を行うよう努めてまいりましたが、一方で「やや不十分」という回答もありました。

また、中核人材の多様性の確保についての考え方などについては、議論が十分なされておられません。監督機能を高めるためにも、引き続き改善すべき点として取締役会の課題として共有してまいります。

3. 当期の取組みについて

評価結果の概要については、次のとおりであります。

今後改善すべき点として認識された事項に対し、次のとおり取締役会で取組んでまいります。

前回認識された課題三点について引き続き課題とし、取締役会の実行性機能向上に向け取り組んでまいります。

取締役会は形式的でなく自由闊達で建設的な議論や意見交換を行ってまいります。経営上の重要な意思決定を行うだけでなく、中長期的な戦略、サステナビリティ、人的資本などについても議論を進めてまいります。多様な意見や視点を踏まえ自由な議論ができる機会をつくり、議論の深化を図ってまいります。

以 上